# Interdomain Routing Security Workshop

# フィルターについて、まとめた話

馬渡 将隆 [MAWATARI Masataka] 株式会社 ドリーム・トレイン・インターネット



#### 1. 大前提

- **・** エンドユーザの通信には影響しない!!
- インターネットのインフラを安定したものにする ひとつの手段 として
  - → 不必要な経路は出さない/受け取らない
- → ISP相互運用でのセキュリティ意識を大切に!!

<u>と、言う事を前提にフィルターについてのガイドライン</u> を考えたいと思います。



#### 2. フィルターを区分してみると

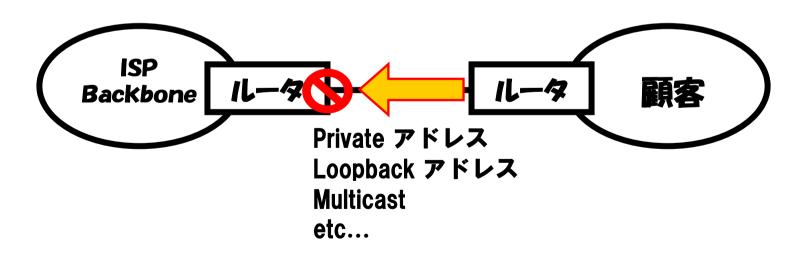
- ➡ AS内部でのフィルター
  - **一** 顧客に対するパケットフィルタリング
  - **一** ルータ自体へのアクセスに対するフィルター
- ➡ AS間でのフィルター
  - **一** ピアおよびトランジットに対するフィルター
    - **一** パケットフィルタリング
    - **一** 経路フィルタリング
  - **IX セグメントに対するフィルター**



# 3. A S内部でのフィルター(1) **顧客に対するパケットフィルタリン**グ



- プライベートアドレス, Loopback アドレス, Multicast...
  などを <u>reject</u> する
  - □ [参考] RFC3330(どこまでフィルタをして良いか?)

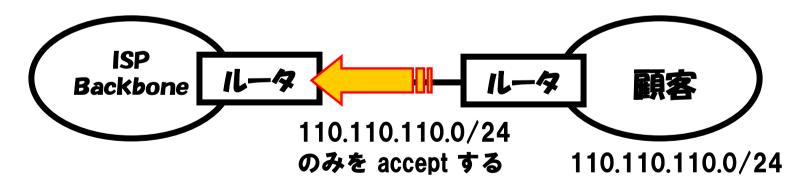




#### 3. AS内部でのフィルター(1)

#### 顧客に対するパケットフィルタリング(続き)。

- **Sourceアドレスフィルタリング**(accept ルール)
  - **顧客に割り当てたアドレスのみ accept する**
  - 動的にアドレスを割り当てるサービスではプールを しているアドレスブロック単位で accept する





3. AS内部でのフィルター(2)

ルータ自体へのアクセスに対するフィルター



- → 必要なサービス以外は アクセス不可にする

リモートアクセス用: telnet, snmp, ftp, ssh ..。

その他には: syslog, ntp, DNS ...。

- **□** ルータ宛の ICMP パケットは RateLimit / Low Priority ?
- Receive ACL
  - **□** ルータのリソースを無駄に使わない為に



#### 4. AS 内部のフィルターをどうやるべきか

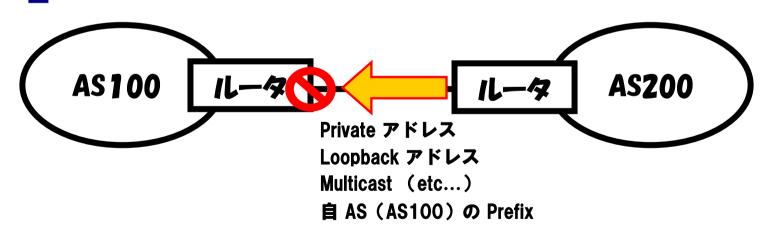


### → AS 内部でのパケットフィルター

#### それほど動的に変化はしないので、設定はしやすいと思われる

フィルター対象	どうする?
顧客に対しては、以下の source アドレスを <u>reject</u> する Private アドレス [RFC1918] Host Loopback アドレス [127.0.0.0/8] Multicast アドレス [224.0.0.0/3] TEST-NET アドレス [192.0.2.0/24] Link-Local アドレス [169.254.0.0/16] Default [0.0.0.0/8]  顧客に割り当てているアドレスのみを <u>accept</u> する	どちらかのフィルター の設定を Must で実施 する (accept フィルターの 方がよりセキュア)
ルータ自体へのアクセスに対するフィルター	Must

- 5. AS間でのフィルター(経路フィルター)
  - ピアおよびトランジットに対する Ingress Prefix フィルター
  - プライベートアドレス, Loopback アドレス, Multicast... などを <u>reject</u> する
    - **□** [参考] RFC3330(どこまでフィルタするかどうか)
  - 自 AS が持っている Prefix の or longer を <u>reject</u> する



本来は、自 AS の外部から来るはずの無い経路は止めてしまう



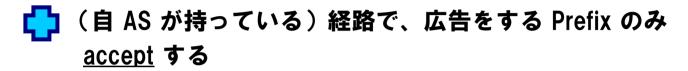
5. AS間でのフィルター(経路フィルター)

ピアおよびトランジットに対する Ingress Prefix フィルター(続き)

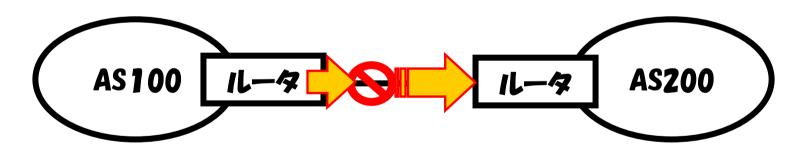


- → 細かい経路のフィルタリング
  - **司** 環境により異なるが、細かい経路は <u>reject</u> にして おきたい(到達性がなくなる場所も出てくる?)
- Max-Prefix Limits
  - **司** 異常な経路数を受け取らないようにする
- → 未割り当てブロックの <u>reject</u> フィルタリング
  - **Bogon list**

- 5. AS間でのフィルター(経路フィルター)
  - ピアおよびトランジットに対する Egress Prefix フィルター



AS 内部で使っている細かい経路はきちんと aggregate をする

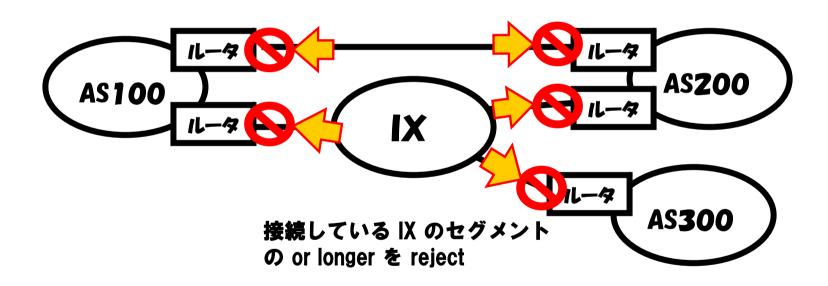


自 AS から外部へは過不足の無い経路を広報する



- 5. AS間でのフィルター(経路フィルター)

  IXセグメントに対する Prefix フィルター
- **自 AS が接続**(connected)をしている **IX** のセグメント の or longer を <u>reject</u> する



<u>本来、自 AS の外部から来るはずの無い(来られたら困る)</u> <u>経路は止めてしまう</u>



#### 6. Prefix フィルターをどうやるべきか



## → ピアおよびトランジットに対するフィルター

### <u>下記のフィルターは、それほど動的に変化はしないので、設定</u> はしやすいと思われる

フィルター対象	どうする?
Private アドレス [RFC1918]	Must
Host Loopback アドレス [127.0.0.0/8 or longer]	
Multicast アドレス [224.0.0.0/3 or longer]	
TEST-NET アドレス [192.0.2.0/24 or longer]	
Link-Local アドレス [169.254.0.0/16 or longer]	
Default [0.0.0.0/8 or longer] を <u>reject</u> する	
自 AS が持っている Prefix の or longer を <u>reject</u>	Must
する	
接続をしているIX のセグメントの or longer	Must
を <u>reject</u> する	



#### 6. Prefix フィルターをどうやるべきか(続き)

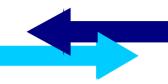


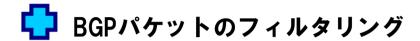
ピアおよびトランジットに対するフィルター

### 下記のフィルターは、比較的動的に変化していき、設定行数も 多くなってくるので、人的リソースおよびルータのパワーと相談

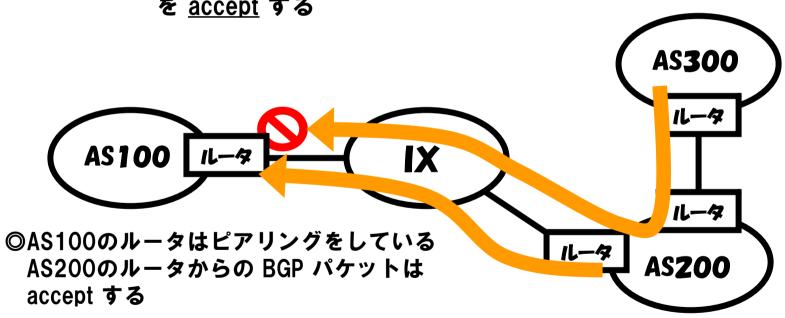
フィルター対象	どうする?
Max-Prefix Limits	厳密に考えるとピア 接続先毎に閾値が 違ってくる
細かい経路を <u>reject</u> する	/25 or longer の大きさ を細かい経路とする例 が多いが、環境により 適応ができない場合も ある
未割り当てブロックを <u>reject</u> する	リソースと要相談

# 7. AS間でのフィルター (パケットフィルター) ピアおよびトランジットに対するパケットフィルター





ピア接続先(iBGP, eBGP) からの BGP パケットのみ を accept する



◎AS100のルータはピアリングをしていない AS300のルータからの BGP パケットは reject する



#### 8. フィルターをうまく使うにあたって



- ピア毎に AS-PATH フィルタリングをしっかり設定をして運用 をしていくのはかなり大変。
- **□** 未割り当てブロックのフィルタリングも結構大変に感じる



<u>フィルターをしっかり設定/運用していく為には、使える</u> ツールがほしくなる。

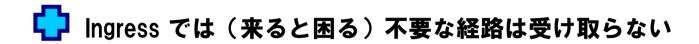


#### 9. フィルター運用管理ツール

- → ほしいと思うフィルター運用管理ツールとは?
  - - **一**フィルターの自動作成/自動更新をしたい
  - **一**フィルターの内容を確認する
    - **一**フィルターの設定内容を分かりやすく閲覧したい
  - フィルターに match したパケット数・Byte 数の閲覧をする(ルータ側でカウントをする実装が必要)
    - **一** 運用に活用をしていく為の情報として重要



#### 10. まとめ



- Egress では、必要な経路のみを広報する
  - <mark>↑</mark> 最悪の事態では、他の ISP に迷惑をかけてしまう事が あります。
- - **一** 灯台下暗しにならないように

<u>設定をした後も、定期的なチェックを忘れないように。</u> 忘れた頃になにかがやってきます。:-)





